

愛知長久手ロータリークラブ

2020 - 21

WEEKLY



例会日=毎週火曜日 PM12:30 例会場=トヨタ博物館「小ホール」 会長 冨田盛義 幹事 神谷恵理 会報 中川清子

Email: a.nagakuterc@aurora.ocn.ne.jp

事務局 TEL:0561-64-5446

FAX:0561-64-5459



ロータリーは機会の扉を開く



本日 第802回2020年11月10日(火曜日)783号

<本日のプログラム> Today's Program

◇ 点 鐘

◇ ロータリーソング 「君が代」「奉仕の理想」

◇祝福

卓話者:小谷恒夫職業奉仕委員長

卓話 :職業奉什委員長会議報告

前回 第 801 回例会 2020 年 10 月 20 日(火曜日)記録

員総数 17名

出席者 12名

出席率 70.58%

<会長挨拶>



愛知長久手ロータリークラブ 会長 冨田盛義

皆さん、こんにちは

今朝朝の 5 時に起きてお風呂に入りました。年を取ったなと思います。会社では、 ヒーターのつもりが付けたエアコンがクーラでした。今、湯冷めしております。 さて、今が旬の味覚サケについて話してみたいと思います。サケが産卵のために生

まれ故郷の川に戻ってくる季節がやってきました。古来、日本ではサケと言えばシロザケを指していました。 日本海側では山口県以北の河川に、太平洋側では千葉県遡上しました。日本海側でも新潟以南になるとブリ 多く取れます。正月に食べる祝魚は北はサケ南はブリと文化圏が分かれます。漁獲量の8割以上は北海道水 揚げされアキアジの名前で親しまれていました。

この言葉は、アイヌの人々はサケをアキアチップと呼んでいたことからの由来だそうです。

ところで、サケとマスは別の魚と思われていないだろうか。実は、どちらもサケ科サケ属に分類されています。サケが秋に遡上するの対し、サクラマス・サツキマスは春から夏にかけて遡上します。産卵の為遡上する時、海から上るのをサーモン・一生川で育ち遡上するのをトラウトと呼びます。日本原産のイト・イワナ・ヤマメがそうである。サケは、遡上し始めると餌を食べなくなり痩せてくるので遡上する前に捕獲するが、マスは餌を食べながら遡上するので捕獲しても脂がのっている為おいしい。富山名物のマス寿司はサクラマスが豊富な神通川流域で取れた郷土食である。食卓に欠かせないサケは外国産のアトランティック・サモーンやサーモン・トラウトが活発に使われるようになりスーパーで売られている銀サケはチリ産である。もう今では、世界中より輸入できるため本来の旬の食物が変わってきた。

食材は、本来の旬な時期に食べたいものだ。

■ニコボックス委員会■

・本日もよろしくお願いします。神谷さん卓話よろしくお願いします。 冨田盛義 ・皆様、本日も宜しくお願いします。 神谷恵理 ・本日は久々の秋晴れ!!本日も宜しくお願いします!! 丹羽司一 ・米山卓話、神谷さんよろしくお願いします。 伊藤広治 ・神谷さん米山卓話よろしくお願いします。 日野典子 ・本日も宜しく御願い致します。 青山和成 ・神谷さん米山卓話よろしくお願いします。 山田文明 ・神谷さんの米山卓話を楽しみにしています。本日もよろしくお願いします。 中川清子 ・良いお天気で気持ちがいいですね。本日もよろしくお願いします。 田中信子 ・本日もどうぞ宜しくお願いします。神谷さん卓話お願いします。 伊藤 真 ・本日もよろしくお願いします。 大橋良宣 ・秋晴れですネ♡本日もよろしくお願いします。米山卓話よろしくお願いします。 小笠原多恵

<幹事報告>

① 次週例会 10/27(火)は、3/14 愛知県国際展示場での地区大会の振替の為休会となります。地区大会の出欠につきましては、ガバナー事務所からの案内が届き次第確認させていただきますのでよろしくお願いいたします。 11/3(火)は、同週祝日振替休会となります。

次回例会は、11/10(火)トヨタ博物館 12:30-13:30 となります。例会後は理事役員会がございますので、よろしくお願いいたします。

② 先日メール・FAXにてご案内をしております 2020-21 年度東尾張分区IM(2/20)ですが、ガバナー補佐より 今年度は中止との連絡がありましたのでご連絡させていただきます。

<卓 話>

「米山卓話」

米山記念奨学委員会 副委員長 神谷恵理

本日は米山卓話の機会を頂き、誠にありがとうございます。本日は米山奨学会の出しているパワーポイントを 中心にお話させていただきます。パソコン操作の関係で座ってお話させていただきます。

P2 ★豆辞典 p3-4 に対応

皆様良くご存知の事とは思いますが、まずは概要を説明します。

ロータリー米山記念奨学事業は、日本のロータリーが作り育てた独自の事業で、34 地区、全地区が参加する多地区合同プロジェクトです。

1952年に事業が始まって以来、一貫して、日本で学ぶ外国人留学生を支援しています。

「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」というのは、この事業をおこなうために、日本のロータリーが協同して運営する奨学財団で、財源はすべてみなさんからのご寄付で成り立っています。

この奨学金の最大の特長は「世話クラブ・カウンセラー制度」です。銀行振込が多い他の奨学金とは違って、米山奨学生にはロータリー活動に共に参加してもらい、交流することを大切にしています。

いったんカウンセラーになると、ロータリークラブの活動そのものに熱心になる方も多く、入会間もない会員にカウンセラーを任せるというクラブもあります。

実際にカウンセラーを体験した方からは、「刺激を受けることが多く、自分の仕事やプライベートに張り合いが生まれた」、「家族ぐるみの付き合いで自分の子どもに国際交流を体験させることができ、ロータリーに入会して本当によかった」という声が寄せられています。

P3 ★豆辞典 p1-2 に対応

終戦翌年の1946年、"日本のロータリーの父"と呼ばれる米山梅吉氏が亡くなりました。

3年後の1949年、戦争のため解散を余儀なくされていた日本のロータリーが、国際ロータリーへ復帰します。 戦後、落ち着きを取り戻すにつれ、梅吉氏の功績を永遠に偲ぶことができるような、何か有益な事業をやろうで はないかという声が大きくなってきました。

当時の日本はまだ食糧事情もはかばかしくなく、会員たちは「クラブへ行けばお茶を入れてもらえる」と、弁当を持参し、ストーブを囲みながら熱心に議論をしていたそうです。(『ロータリー米山記念奨学会 25 年史』より)そして 1952 年、東京 RC の古沢丈作会長が「米山基金」の構想を発表しました。これは、アジアから優秀な学生を招いて学費を援助し、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために "平和日本" を肌で感じてもらいたい、というものでした。こうして、東京 RC が始めた「米山基金」は、わずか 5 年で、日本の全ロータリークラブの共同事業として継承され、1967 年には財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。

<参考>

写真は、米山梅吉翁(上)と、米山基金の構想を発表した古沢丈作氏(下) 米山梅吉氏(1868-1946) 古沢丈作氏(1881-1955)

P4 ★豆辞典 p1-2 に対応

米山奨学事業は、日本のロータリー独自の活動として作られ、発展してきました。このため、ロータリーの活動ではあるものの、国際ロータリーとは一線を画す状況が続いていました。そうした関係が次第に変化してきたのは 2000 年に入ってからです。

2004 年 11 月のR I 理事会では、「奨学金の授与を通し、世界理解と平和に貢献されている財団法人ロータリー 米山記念奨学会を称賛する」とされ、ロータリー米山記念奨学会が「多地区合同奉仕活動」(現在は多地区合同活動)の手続きを取ることにより、ロータリーの名称やロータリーマークを今後も引き続き使用することを認める、ということが決議されました。

2007 年には全 34 地区からの同意を得て、R I の定める多地区合同奉仕活動として、すべての手続きを完了しました。 そして 2014 年 1 月の R I 理事会では学友の定義が拡大され、米山学友も「ロータリーの学友」となりました。 これを受けて、2016 年のソウル国際大会には世界中から多くの米山学友が集まり、ロータリーファミリーの一員として参加したのです。

P6 ★豆辞典 p4、p11

米山は、外国人留学生を対象とする民間の奨学金では国内最大規模です。

今年 4 月からスタートした 2020 学年度は、日本全国で 883 人 (前年度 868 人) が現在、各ロータリークラブで お世話をいただいています。累計では世界 129 の国と地域から 2 万 1,624 人を支援しています。

奨学生の国・地域別の割合はグラフのとおりです。累計では中国、韓国、台湾が多いですが、最近ではベトナムの奨学生が急増しており、中国に次いで多くを占めています。

P7 ★豆辞典 p10 (※自動的に、採用基準項目が黄色く強調されます)

米山奨学生の採用は、全国統一の基準があります。

「将来の目標・留学の目的がきちんとしているかどうか」

「交流への熱意があるかどうか」

「人柄の良さ」

「コミュニケーション能力の高さ」

詳しい評価項目は公表していませんが、全国統一の評価項目を使って、各地区の選考委員会が面接選考をしています。もちろん、応募書類の審査もしています。

ロータリー米山記念奨学会は 2012 年に公益財団法人となり、より一層の公平性・透明性を確保するため、このように全地区共通の選考基準で選考をしています。

そのうえで、例えば「国籍や県別割合の調整」「地区独自に実施するグループディスカッションの評価」など、地区の裁量を加えて良いことになっています。

米山奨学金はお金に困っている留学生の経済支援ではありません。

珍しい 国だから、生活に困っているから、学校の成績が優秀だから・・・。 いずれも、ただそれだけでは米山奨学生に合格しないのです。 P8

新型コロナウイルスの水際対策として日本がおこなっている外国人の入国制限措置により、出国したまま 4 月以降も日本へ戻ってくることができない奨学生がいます (8 月 13 日時点で全国に 54 人。※制限は徐々に緩和しており 2020 年 10 月より留学生は全世界から入国可能となる予定)。

こうした奨学生には、毎月近況を書いた報告書の提出を求めているほか、世話クラブやカウンセラーとはメールやSNSで連絡を取り、オンラインで例会に参加するなどの工夫をお願いしています。また、8月からは毎月の 奨学金を半額とし、帰国次第全額支給する措置もとっています※1

今年度は、世話クラブとの交流だけでなく、地区奨学生が集まるイベントが中止になるなど、各所での交流が希薄になってしまいがちですが、その中で出来る限りの工夫をお願いしています。

※1 日本へ帰国後、申請があれば半額期間の見直し措置もあります。

P10 ★豆辞典 p23 に対応

これは、地区別の個人平均寄付額です。

昨年度の全国平均は15,055 円、最も高かったのは、第2590 地区(神奈川県横浜市・川崎市)の27,190 円でした。 当地区はピンク色の矢印が指している所で、一人平均13,980 円、全国で15 番目でした。

P11

もう少し詳しく見てみますと、当地区の個人平均寄付額 13,980 円のうち、普通寄付金は平均 4,878 円、全国平均は 4,788 円。また、特別寄付金は 9,102 円、全国平均は 10,267 円でした。

今年度の地区目標 20,000 円、寄付増進に向けてご協力いただけると助かります。

P12 ★豆辞典 p23 に対応 ※黄色網掛けは上位 3 地区、水色網掛けは下位 3 地区

次は、特別寄付者の割合です。

棒の高さは会員数の多さを示しています。会員の中で、個人として特別寄付をした人の割合が黒い部分です。全国平均は45.8%、当地区は33.7%で、21位でした。

ちなみに、トップは第2650地区(福井・滋賀・京都・奈良)で、約83%のロータリアンが特別寄付をしています。

P15 ★豆辞典 p15-17 に対応 (※

(※学友会のある国が自動的に表示されます)

巣立った奨学生のOB組織、米山学友会は日本に33、海外に9つあります。

日本は34地区なので1つ足りないように見えますが、日本の全地区に学友会があります。

(北海道=ロータリー地区は2つですが、学友会は「北海道米山学友会」の1つであるため) それぞれ、親睦を

深めたり、自主的に社会奉仕活動をしたり、ロータリーの活動に協力したりしています。

P16 ★豆辞典 p15-17 に対応

各学友会ではさまざまな活動をしています。昨年度の活動を一部ですがご紹介します。

左上、第 2840 地区(群馬)学友会では、地域のお祭りで飲み物を配布したり、ゴミの分別をするボランティアを引き受けてくれました。

右上、第 2750 地区(東京)学友会では、カンボジアの子どもたちに読書の習慣を身に付けて欲しいと、小学校へ本や文具を寄贈しました。

左下、関西学友会(大阪)では、ローターアクターと一緒に和食文化の体験会を開催しました。

右下、第 2790 地区(千葉)学友会は毎年、地区内のロータリー学友やロータリアンに声を掛け、「ロータリーデーBBQ大会」を開催しています。

P17 ★豆辞典 p15-17 に対応

海外の米山学友会も頑張っています。

左上、台湾米山学友会です。台湾に留学する日本人への奨学支援は今年 11 年目を迎え、累計 36 人の日本の若者を支援しています。

右上の韓国でも、先程の台湾にならって、日本人留学生への奨学金を支給してくれています。今年で累計 14 人の日本人がお世話になっています。

左下、マレーシア学友会では、子どもの通学時のマスク着用が義務づけられたことにより、国内各地の学校に大量のマスクを寄贈しました。

右下は、スリランカ学友会です。健康診断に行くこともできない貧しい村で医療キャンプを実施し、薬や老眼鏡を提供しました。

P18 ★豆辞典 p15-17 に対応

さて、来年(2021年)6月は台北でロータリー国際大会が開催されます。これに合わせて、米山学友の世界大会、「出会い in 台湾」が開催されます。

6月12日、開会式の前日の予定です。台湾へ行く方は、ぜひこちらにもご参加ください。

詳細については、米山奨学会ホームページなどで随時案内します。

<参考>

過去に開催された世界米山学友の集い

1 回目: 2017 年「感謝 in 熊本」

2回目:2019年「絆 in モンゴル」

P19

台北国際大会では、米山奨学会がブースを出展し、分科会を開催して、日本のロータリーの誇る米山記念奨学事業を世界にPRする予定です。国際大会に行かれる方は、是非こちらにもご参加、お立ち寄りください。

P20 ★豆辞典 p12

巣立った奨学生たちは、個人としてもさまざまな形で活躍しています。教育や研究、NPOやNGO、起業する者などあらゆる分野にわたっています。

豆辞典では13-14ページで6人の学友を紹介しています。あとでご覧ください。

ロータリーに親しんだ学友たちは、卒業後も、ロータリーとのつながりを持ち続けたいと願っています。

その1つとして、ローターアクトに入会する学友、また、ロータリアンとしてクラブに入会する学友がいます。 現在、ローアリアンになった学友は239人おり、その中には、ガバナーになった学友も3人います。

また、米山学友が中心となって設立したロータリークラブも国内外に5つあります。

<参考>

※ガバナーになった米山学友

1人目:韓国の林隆義さん(リムユンウィ/1997-98年度 第3650地区ガバナー)

2人目:台湾の許国文さん(きょこくぶん/2005-06年度 第3490地区ガバナー)

3人目:台湾の林華明さん(りんかみん/2015-16年度 第3520地区ガバナー)

※韓国では2016年に、米山学友による衛星クラブ、「韓国米山セソウル・ロータリー衛星クラブ」が設立されましたが、残念ながら現在は解散しています。

P21 ★豆辞典 p12

米山記念奨学事業の成果、それは「学友」そのものです。

2011年、東日本大震災が起きた時に、発生直後から日本の無事を願うメッセージが相次いで寄せられ、国内外の学友から760万円の義援金が送られました。

熊本大地震の時にも、上海米山学友会から20万円が寄せられました。

米山奨学会への寄付のほとんどはロータリアンによるものですが、実は学友からも、先ほどの義援金以外に、累計 3,768 万円の寄付をいただいています (2020 年 6 月末)。

昨年度だけに限定すると、約180万円が学友からの寄付でした。

毎月1万円、毎月2,000円など、こつこつ継続して送金してくれている学友もいます。

こうした「寄付」という形でのロータリーへの恩返しは、他のプログラムではあまりみられないものです。

P23 ★豆辞典 p8

まずは危機管理について。

米山奨学生は、ほぼ全員が成人しているとはいえ、まだ大学・大学院で勉強する学生です。青少年交換学生と同 様に、彼らの安全を常に気にかけてくださいますよう、お願いします。

①自然災害の場合。有事の際、奨学生と世話クラブ役員、または、奨学生と地区米山委員会、あるいは学友も含 めた SNS グループを作っておくと、いざというときに迅速に確認を取ることができます。

②病気や事故。留学生は国民健康保険に加入しているので、医療費は3割負担ですが、入院・手術の際に必要な 高額医療費の申請手続きは、外国人にとって非常に難しいものです。また、海外でのケガや病気は不安が大きい ので、できる限りケアをお願いします。米山記念奨学会では、2020年4月から、現役奨学生が例会出席の道中 に起きた事故や病気に対する保険に加入しています。何かあれば申請してください。

③ハラスメント。セクハラ・パワハラに巻き込まれないために、奨学生とできるだけ接しないようにする…とい うのは、事業本来の目的から遠ざかるものです。米山奨学会では専用電話ダイヤルを設けており、奨学生はもち ろん、ロータリアンも相談可能です。また、ロータリアンが訴えられた場合の賠償責任保険もありますが、適用 範囲は、ガバナー、クラブ会長、地区米山奨学委員長などです。

いずれの場合も、何か問題が発生した場合は、まずは地区米山奨学委員会へ迅速な報告・相談をお願いします。 参考:『カウンセラー・ハンドブック 2020 学年度』 p22-23

P24 ★豆辞典に対応記載なし

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、実際の奨学生の選考、お世話などの業務を、地区・ガバナー・世話 クラブへ「委託」する形となっています。これまではその点を明文化することなく運営してきましたが、内閣府 からの指摘により、「業務委託に関する規程」を整備しました。

そして 2020 学年度採用分から、「米山奨学会」と「地区」との間でまず覚書を交わし、続いて「地区」と「世話 クラブ」との間で覚書を締結していただいています。これは、1回限りではなく、毎年実施するものです。奨学 生に関してやっていただく内容はこれまでと変わりなく、互いの位置づけを改めて明文化した、ということにな ります。今年も 12 月頃からガバナー・ガバナーエレクトと奨学会との間で覚書を交わし、来年 2 月頃から、地 区と、世話クラブ会長・会長エレクトとの間で覚書を交わしていただきます。どうぞよろしくお願い致します。 <参考>

※ロータリー年度(7~6月)と奨学生の学年度(4~3月)が異なるため、地区においてはガバナーとガバナーエ レクトの連名、世話クラブにおいては会長と会長エレクトの連名によるサインが必要です

※地区では 2021 学年度奨学生の世話クラブが決定次第、正式採用までの間に、世話クラブとの覚書締結を行っ ていただくことになります



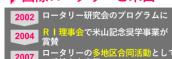
▶米山奨学事業の概要

日本のロータリー独自の事業 (日本全国34地区の合同活動) 日本で学ぶ外国人留学生の支援 (公益財団法人を設立し運営) 世話クラブ・カウンセラー制度 で交流を重視

▶事業のはじまり

- 1946年 米山梅吉氏逝去
- 1949年 日本のロータリーが 国際ロータリーへ復帰
- 1952年 東京R Cが事業構想 (日本の友人を増やし 平和を 実践する人材を育てる)
- 1957年 日本全国の組織へ
- 1967年 財団法人設立

▶国際ロータリーと米山



2007

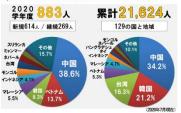
2014 国際ロータリーが学友の定義拡大米山学友も、「ロータリーの学友」

2016 ソウル国際大会で初の分科会開催

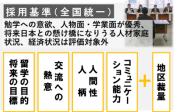
米山奨学金 ح 奨学生

"

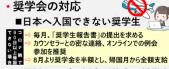




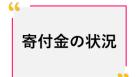
▶奨学生数の決定と選考



▶コロナ禍への対応と交流



■世話クラブの例会が休会の奨学生 例会会場以外の場でクラブから奨学金を手渡し カウンセラーとの密な連絡を推奨



寄付実績 個人平均



寄付実績 個人平均

	当地区	全国平均
個人平均 寄付額	13,980ฅ	15,055ฅ
-普通寄付金	4,878 _円	4,788⊭
-特別寄付金	9,102ฅ	10,267ฅ

学友会(国内33、海外9)

1 XX (E1 100(14713)
2014 1989
モンゴル 韓国 日本国内:33
2009
中国
1983
2013 台湾 ネパール
ネパール 2014
2012 マレーシア
91
2016 2017
スリランカ ミャンマー

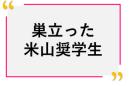
寄付実績 特別寄付者割合





ご寄付は奨学事業に





学友会の活動【海外】



▶学友からロータリアンに



業務委託・覚書の締結



▶学友会の活動【海外】



●恩返しの気持ち ♥♥፳からの寄付



- 2019年度は学友から<mark>約180万円</mark> (うち98万円は創立10周年を迎えた東京米山友愛RCなどのロータリアン学友から)
 毎月1万円、毎月2,000円などコツコツ継続寄付する学友も

台北国際大会

- 国際大会期間中 2021年6月12日 「出会いin台湾」
- ・2年に1度開催さ れる米山学友の 世界大会ぜのご参加

知っておいて

いただきたい事



TAIPEI

台北国際大会



奨学生に関わる危機管理

















11月17日(火)	11月24日(火)	12月1日(火)	12月8日(火)
財団卓話	同週祝日振替休会	年次総会	クラブフォーラム (次年度補助金事業について)
(トヨタ博物館)		(トヨタ博物館)	(トヨタ博物館)